



2 学 期	D 図形の性質 三角形の性質 【知識及び技能】 三角形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。	・指導事項：角の二等分線と比、三角形の外心・内心・重心、チェバ・メネラウスの定理 ・教材：教科書、補助教材、Classi等 ・一人1台端末の活用：授業の振り返り、生徒の発表、資料の提示、Classiを活用した問題演習等	【知識・技能】 ・外心・内心・重心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ・チェバ・メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・線分を分ける点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとする態度がある。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	E 図形の性質 円の性質 【知識及び技能】 円に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。	・指導事項：円周角の定理、円に内接する四角形、円と接線、接線と弦の作る角、2つの円 ・教材：教科書、補助教材、Classi等 ・一人1台端末の活用：授業の振り返り、生徒の発表、資料の提示、Classiを活用した問題演習等	【知識・技能】 ・円周角の定理、円に内接する四角形、接線と弦の作る角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。 ・方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2円の位置関係を、動的な面から観察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・接線と弦の作る角についての定理を証明する際に、鋭角の場合と鈍角の場合に分けて考察しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
E 図形の性質 作図 【知識及び技能】 基本的な作図について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。	・指導事項：基本の作図、いろいろな作図 ・教材：教科書、補助教材、Classi等 ・一人1台端末の活用：授業の振り返り、生徒の発表、資料の提示、Classiを活用した問題演習等	【知識・技能】 ・円周角の定理を利用して、円の外部の点を通る円の接線を作図することができる。 ・平行線と比の性質を利用して、線分を内分する点を作図することができる。 【思考・判断・表現】 ・作図の各過程において、平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学で扱う作図と、日常において図形をかくことでは、何が違うか考えてみようとする。	○	○	○	9	
F 図形の性質 空間図形 【知識及び技能】 空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。	・指導事項：空間における直線と平面、多面体 ・教材：教科書、補助教材、Classi等 ・一人1台端末の活用：授業の振り返り、生徒の発表、資料の提示、Classiを活用した問題演習等	【知識・技能】 ・空間における2直線の位置関係や、直線と平面の位置関係を理解し、問題を処理できる。 ・平行線と比の性質を利用して、線分を内分する点を作図することができる。 【思考・判断・表現】 ・空間における図形の位置関係について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正多面体が5種類である理由に関心をもち、その理由を調べようとする。	○	○	○	9	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	G 数学と人間の活動 【知識及び技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。	・指導事項：約数と倍数、1次不定方程式、記数法、座標の考え方、ゲーム・パズルの中の数学 ・教材：教科書、補助教材、Classi等 ・一人1台端末の活用：授業の振り返り、生徒の発表、資料の提示、Classiを活用した問題演習等	【知識・技能】 ・約数・倍数、公約数、最大公約数の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ・ゲームやパズルの仕組みを論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもち、 ・数学史に興味・関心をもち、	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1